

宇宙分野で何をやっているの？



防衛省・自衛隊では、宇宙分野において

「つなぐ」「とらえる」「まもる」

という3つの方向性から様々な取組みを進めています。

今回は、宇宙から「つなぐ」について、紹介します。

宇宙から「つなぐ」

課題

作戦の現場において通信の
安全性や容量が不足している

方向性

意思決定に資する情報伝達やデータ伝送において、
保安・容量・遅延の改善
により情報を「つなぐ」

<PATS加盟の実証> ※PATS (Protected Anti-jam Tactical SATCOM)

- 米国を中心とする加盟国間で通信帯域を共有する枠組であるPATSへ参加するため、通信機材の整備・実証を行い、通信の抗たん性を確保する。

<次期防衛通信衛星の開発・製造>

- 防衛衛星通信「きらめき」の後継機となる次期防衛通信衛星の開発・製造を行う。
- 妨害に対して抗たん性を有する技術等に関して技術実証を行う。

<低軌道通信衛星コンステレーションのサービス利用>

- 民間コンステレーションの通信サービスの利用について、陸・海・空各部隊における実証を行い、通信容量の不足に対応する。

